

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272700899		
法人名	社会福祉法人恵心会		
事業所名	グループホーム鶴亀		
所在地 (電話番号)	〒039-0122 青森県三戸郡三戸町斗内字和田60-1 (電話) 0179-23-4112		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月4日	評価確定日	平成21年11月18日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	3,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(8月 7日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1		要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5		要支援2	名
年齢 平均	85.3 歳	最低 70 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三戸中央病院・石亀歯科クリニック・田島医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>母体施設の裏側に位置するホームだが、大きな矢印で分かりやすく案内が表示されている。ホームの周囲には花が植えられ、外観にも配慮されている。ホーム内は採光も良く、落ち着いた装飾で居心地の良い空間となっている。関連施設との異動にも配慮されており、研修や避難訓練など連携が取れている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>個別記録において、記入の時間や記入方法を検討し現在も模索中であるが、少しずつ「その人の暮らしが見える」記録としてできつつある。座談会と称して集会所で体操や認知症に関する知識を地域住民に伝え、好評を得ている。今後も職員交代で座談会を開催していく予定である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価に取り組み、見直しや確認を行っている。ケアの向上に繋がるように努力している。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>家族、民生委員、町の職員、ホームの職員が出席し、2ヶ月に1回開催され、ホームの状況や行事の企画などを伝えている。民生委員からも地域の催し物などの情報を教えて頂いている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>家族の面会が多くあり、都度報告をしておりコミュニケーションが図れている。家族が気兼ねをしておかなかない事を考慮し、投書箱を設置するなどして配慮している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町で行っている住民健診や地域行事への参加など、地域に根ざした関係を築けている。近所の散歩時に気軽に挨拶したり、立ち寄れる関係が築けている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員からの意見を踏まえ、地域に根ざした理念を管理者がまとめ、作成している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月目標を決めて実施している。評価も毎月職員全員で話し合いを行っている。地域との交流が増え始めており、さらなる実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	集会所にて体操やレクリエーションを行い、事業所のパンフレットを活用しながら、気軽な座談の中で情報提供している。法人の草取りにも参加してもらったり、普段から果物や、種苗を分けて頂いているなど、気軽に立ち寄ってもらえる関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を職員会議で報告している。改善に向けて職員全員で話し合いをして取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施しており、家族・利用者代表・民生委員・介護保険班など参加している。評価についても報告し助言を得ている。民生委員からは地域の行事等教えて頂いている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町内の健診に毎年参加したり、事業所の待機者の情報について報告するなど、連携が取れている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者が資料を用いてわかりやすく職員に説明している。ホール内にも提示して家族にも周知できるように配慮している。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修や職員会議等で話題に上げ、対応や食事など細かい部分で虐待につながらないように話し合い、注意している。マニュアルはホーム内にあり、いつでも確認できるようになっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には家族に説明を十分に行い、疑問点や不安な点などないか確認し、同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の面会が多く、面会時には都度状態報告している。急ぎの用件の場合には電話連絡している。出納帳も作成しており、面会時に報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>「気がついたこと」として意見箱を設置し、家族等が気軽に意見を出せるようにしている。また、プラン説明時にも要望等がないか確認している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>通所サービスとの合同レクに参加したり、同法人のホームと交流を持ち顔なじみの関係となっている。母体施設の異動時には、利用者への不安を防ぐことはできている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修やサブリーダー研修など行い、年に2～4回研修をそれぞれの能力や年数に応じて行っている。内容についても年間計画を立てて行っている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームと行事を通して交流を図っている。ケアプランや記録の事で情報交換しながら、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>綿の布団(使い慣れた)や湯のみなど持参して頂いたり、家族からの提案として本人の好きなポスターを居室に掲示するなど工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑仕事や山菜の調理方法、種を蒔く時期などを教えていただくなど、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で、本人の思いを引き出すように心がけている。週1回のカンファレンスで本人の意向に合うよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	週1回のカンファレンスにおいて、スタッフ同士で話し合いを行い、本人・家族の同意も得られている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに定期的に見直しを行い、スタッフで話し合いながら計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	選挙に行ったり、利用前に行っていた町の健診に参加するなど、町職員の協力を得ながら対応できている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的な受診や往診があり、連携が取れている。希望する病院への受診対応が難しい場合は、家族が受診対応するなど協力が得られている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>同意書や指針を準備し、家族への説明を行っている。状況の変化に応じながら、本人、家族、関係者と話し合いが持てるよう努めている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人一人に合わせた気遣いのある声がけをしており、食事中の排泄などに対しても、さりげなくそばに寄り耳元で声がけをしている、プライバシーや個人情報の記録はステーションで管理している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の希望に沿って近くの川などに散歩に行くなどして過ごしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>母体施設の栄養士が献立を作成しているが、近所の方から頂いた物を利用者の希望に応じて料理している。利用者個々の能力に合わせて準備や味付けと一緒にしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日を決めているものの、受診前など必要に応じて随時対応している。利用者の要望に合わせて1番風呂に入浴できるよう工夫をして、楽しめるように配慮している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々の身体能力に合わせて、草取りをしたり、収穫できるかどうか聞いたり、それぞれの生活歴に応じて対応している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>近所のスーパーや近隣の祭りや踊り、行きつけの理容室に出かけるなど、家族の協力も得ながら外出を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者からの報告を職員会議で伝達し、拘束にならないように確認している。ステーションにファイルしており、いつでも確認できるようにしている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず対応している。必ず見守りを行い、対応できている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域での協力体制があり、消防署立会いのもと避難訓練をしている。事業所でも毎月訓練を行い、日中・夜間の体制を確認している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の声を聞きながら、差し入れの品物も加え食事提供している。また、母体施設の栄養士と相談しながら栄養のバランスを確認している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成しており、いつでも確認できるようにしている。また、手洗いを徹底しており感染予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広い空間であり、ホームそばに咲いている花や、観葉植物を飾っている。また、季節折々の飾りを職員が作成した物や、利用者が作成した作品を掲示しており、居心地のよい空間を作っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>布団や湯のみなど使い慣れた物を使用したり、なじみのポスターを掲示するなど、落ち着いた空間を作るよう工夫している。</p>		

 は、重点項目。